国土国第１２０号
平成２９年１２月７日

一般社団法人日本電設工業協会
会長　後藤　清　殿

国土交通省土地・建設産業局長

ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞の創設及び募集について（通知）

国土交通省では、我が国の提唱する「質の高いインフラ」を象徴する企業の秀でた事業活動等を表彰することにより、「質の高いインフラ」の更なる普及促進を図り、我が国企業のプレゼンス向上や更なる海外進出を支援するとともに、若年世代の建設産業への入職を促進することを目的として、新たに「ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞」（国土交通大臣表彰）を創設しました。

つきましては、別添の募集要項の通り、我が国企業が実施した海外建設プロジェクト及び海外において活躍する我が国中堅・中小建設関連企業の募集を行いますので、会員団体及び会員に対して、本表彰の実施について周知して頂きますようお願いいたします。

受付
29.12.14
一般社団法人
日本電設工業協会

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

平成29年12月7日
土地・建設産業局国際課

# 優れた海外建設プロジェクト及び海外で活躍する中堅・中小建設企業を表彰します

～「第１回ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞」（通称：「JapaCon 国際賞」）の募集を開始～

国土交通省では、今年度「ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞（国土交通大臣表彰）」を創設し、我が国の提唱する「質の高いインフラ」を象徴する日本の強みを発揮した建設プロジェクト及び海外において先導的に活躍している中堅・中小建設関連企業を表彰することにより、我が国の競争力の強化を図り、我が国企業の更なる海外進出を後押しします。
１２月７日より募集を開始しますので、奮ってご応募ください。

１．募集内容について（※詳細は募集要項等をご覧ください。）

（１）募集対象

①建設プロジェクト部門

海外において我が国企業が設計者、施工者、施主（不動産開発の場合）、施工管理者、ＰＰＰ等の出資者のいずれかの形で参加している建設プロジェクトであって、過去５年以内（平成２４年４月１日以降）に完工し、瑕疵担保期間が終了したもの

②中堅・中小建設企業部門

海外において建設、設計、測量、建設資機材の供給等の事業活動を行っている我が国中堅・中小建設関連企業

（２）募集締切

平成３０年１月３１日（水）必着

２．選考・表彰について

有識者等で構成する「海外インフラ展開に関する表彰についての検討・審査委員会」（委員長：森地茂（政策研究大学院大学政策研究センター所長））において、次の点を総合的に評価して選考し、「ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞（国土交通大臣賞表彰）」として表彰します。

・我が国企業の優れたノウハウ・技術力、プロジェクト管理能力等を通じ、「質の高いインフラ」を実現したか
・我が国企業の海外におけるプレゼンス向上に寄与し、我が国企業の海外進出を促進したか

※添付資料：募集要項、応募申込書（建設プロジェクト部門）、応募申込書（中堅・中小建設企業部門）

＜問い合わせ先＞
国土交通省土地・建設産業局国際課　青木、小泉
電話　03-5253-8111（内線 30712、30713）、直通　03-5253-8280、FAX　03-5253-1575

国土交通省

第1回

# JAPANコンストラクション国際賞

## ～ Japan Construction International Award ～

## ＜国土交通大臣表彰＞

**優れた海外建設プロジェクト及び海外で活躍する中堅・中小企業を表彰します！**

国土交通省では、我が国の提唱する「質の高いインフラ」の普及啓発を図り、我が国企業の海外におけるプレゼンス向上及び更なる海外進出を応援することを目的とした国土交通大臣表彰として、「JAPANコンストラクション国際賞（通称：JapaCon国際賞）」を創設しました。

我が国企業の優れた技術・ノウハウ等を生かし、「質の高いインフラ」を代表する海外建設プロジェクト及びパイオニアとして海外で活躍する中堅・中小建設関連企業を表彰します。

## 募集対象

### ◆ 建設プロジェクト部門

海外において我が国企業が参加している建設プロジェクトであって、過去5年以内に完工し、瑕疵担保期間が終了したもの

### ◆ 中堅・中小建設企業部門

海外において建設、設計、測量、建設資機材の供給等の事業活動を行っている我が国中堅・中小建設関連企業



## 応募方法

応募申込書に必要事項を記載いただき、参考資料を添えて下記事務局までご提出ください。

【募集締切】 平成30年1月31日（水）必着

【提 出 先】 JAPANコンストラクション国際賞事務局

一般社団法人 海外建設協会 総務部（担当：鈴木、上嶋）

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-24-2

TEL：03-3553-1631 FAX：03-3551-0148 E-mail：info@ocaji.or.jp

※募集要項及び応募申込書は、国土交通省土地・建設産業局国際課のホームページからダウンロードできます。

【URL】http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_mn1_000003.html

＜お問合わせ先＞

国土交通省土地・建設産業局国際課（担当：青木、小泉）

TEL：03-5253-8280 E-mail：hqt-g-kks@ml.mlit.go.jp

# 第１回
# ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞

# 募集要項

平成２９年１２月

国土交通省 土地・建設産業局 国際課

## １．ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞について

アジアをはじめ世界には膨大なインフラ需要があり、我が国企業は、世界各国において様々なインフラの設計、建設工事、不動産開発等に携わり、我が国と異なるビジネス環境の中で、我が国の優れた設計・施工ノウハウや技術力を存分に発揮してきました。この結果、我が国企業は海外において揺るぎない信頼を勝ち取り、人材育成や技術移転等において国際的に貢献しつつ、「質の高いインフラ」を提供するに至っています。

そこで、国土交通省において「ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞（国土交通大臣表彰）」を創設し、我が国企業が携わり「質の高いインフラ」として整備された海外建設プロジェクト及び先導的に海外において活躍する中堅・中小建設関連企業を表彰することにより、「質の高いインフラ」の更なる普及啓発を図り、我が国企業の海外におけるプレゼンスを高めるとともに、我が国企業のさらなる海外進出を応援します。

また、海外において高い評価を得ている建設プロジェクトや海外で活躍する我が国企業を日本国内にも分かりやすく伝えることによって、若年世代が将来海外建設産業に携わることへの興味・関心を高めることも期待します。

## ２．募集内容

（１）募集対象

建設プロジェクト部門

海外において我が国企業が以下のいずれかの形で参加している建設プロジェクトを対象とします。

○設計者　　○施工者　　○施主（不動産開発の場合）

○施工管理者（ＰＭ／ＣＭの場合）　　○ＰＰＰ等の出資者

※対象外：施工後の管理・運営のみの場合、マスタープラン作成のみの場合

中堅・中小建設企業部門

海外において建設、設計、測量、建設資機材の供給等の事業活動を行っている我が国中堅・中小建設関連企業を対象とします。

（２）応募資格

建設プロジェクト部門

○応募者は、当該プロジェクトの設計、建設工事、不動産開発等に携わった本邦法人またはその海外子会社（孫会社等も含む。以下同じ。）とします。

○本邦法人またはその海外子会社が、他社とのＪＶで携わったプロジェクトについて応募することも可能です。また、海外子会社が携わったプロジェクトについて、本邦法人が応募することも可能です。

○プロジェクトは、平成２４年４月１日以降に完工したもので、瑕疵担保期間が終了しているものとします。

中堅・中小建設企業部門

○応募者は、資本金１０億円以下、または、従業員数３００人以下の本邦法人（資本金１０億円超または従業員数３００人超の法人の子会社を除く。）またはその海外子会社とし、元請け企業である必要はありません。

○本邦法人が、その海外子会社の事業活動や受注実績について応募することも可能です。

## ３．応募方法・締切

（１）応募方法

応募申込書及び参考資料各２部を、下記事務局までご郵送下さい。
また、応募申込書については、別途、電子メールにてご提出下さい。

【提出先】：ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞事務局
一般社団法人 海外建設協会 総務部（担当：鈴木、上嶋）
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 2-24-2
電　話：03-3553-1631　　Fax：03-3551-0148
E-mail：info@ocaji.or.jp

【応募書類】：国土交通省ホームページの下記箇所からダウンロードできます。
政策情報・分野別一覧内の「土地・建設産業」
→当局の業務キーワード内の「国際展開支援」
→トピックス内の「ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞の募集開始について」

≪ＵＲＬ≫
http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_mn1_000003.html

（２）応募締切

【応募締切】：平成３０年１月３１日（水）（消印有効）

※電子メールは平成３０年１月３１日（水）１８時締切

（３）留意事項

応募に当たっては、以下の点についてご留意下さい。

① 建設プロジェクト部門において、応募プロジェクトの自社担当以外の部分（例：応募者が設計を担当した場合の施工部分）については、当該部分を担当した関連企業等から了解を得た上で、応募資料に情報を記載することが可能です。

② 建設プロジェクト部門の表彰対象は個人や団体ではなく、プロジェクト自体を表彰するものですので、発注者、コンサルタント、事業関係者等で意見をまとめ、共同で応募いただくことも可能です。共同で応募される場合は、代表者（連絡窓口）を明記して下さい。

③ 応募申込書は、必要事項を簡潔に記載し、できる限り全ての項目について記載して下さい。不明な点は、「７．」に記載の問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

④ プロジェクトの内容や企業の概要、アピールポイントが分かる参考資料（写真、パンフレット、仕様書、報道記事のコピー等）がありましたら、併せて送付下さい。

⑤ 参考資料または関係企業等からの同意について、応募締切日までに準備が整わない場合には、その旨事務局までご相談下さい。

⑥ 応募いただいた書類は返却致しませんのでご了承下さい。

⑦ 必要に応じて、事務局より応募内容の確認等のご連絡をさせていただく場合があります。

⑧ 受賞者に選出された場合は、表彰式（平成３０年３月開催予定）にご出席いただき、プレゼンテーションを行っていただきます。

⑨ 罪を犯した者や建設業法に基づく営業の禁止及び許可の取り消しを受けた者など、社会通念上不適切と思われる場合は受賞対象から除外させていただきます。

## 4．選考方法と審査基準

（1）選考方法

一般公募により集まった建設プロジェクト及び中堅・中小建設関連企業について、学識経験者・有識者等で構成する「海外インフラ展開に関する表彰についての検討・審査委員会」（委員長：森地茂［政策研究大学院大学政策研究センター所長］）における審査により選定します。

（2）審査基準

審査においては、各部門について、以下の点を中心に総合的に評価します。

※詳細については、応募申込書をご確認下さい。

**建設プロジェクト部門**

①「質の高いインフラ」を実現したか。

（ⅰ）効果的なガバナンス、信頼性のある運行・運転、ライフサイクルコストから見た経済性、インフラの安全性及び自然災害・テロ等に対する強靭性

（ⅱ）現地労働者の雇用創出、現地コミュニティへの技術・ノウハウの移転

（ⅲ）社会・環境面での影響への配慮

（ⅳ）国家・地域レベルの経済・開発戦略との整合性

（ⅴ）民間部門を含む資金の効果的な動員

②我が国企業の優れた技術・ノウハウ等の強みを活用し、海外におけるプレゼンス向上に寄与したか。

（ⅰ）現地社会からの評価

（ⅱ）日本の技術・ノウハウや人材育成等の強みの活用

③若年世代の興味・関心を高めるとともに、国際人材の育成に寄与したか。

（ⅰ）若手人材への訴求力

（ⅱ）国際人材の育成

④戦略性をもって取り組んだか。

・戦略性のある受注や事業の実施

※記載内容の裏付けとなる客観的資料の有無や内容についても、評価の際に考慮させていただきます。

中堅・中小建設企業部門

①積極的かつ持続可能な海外展開をしているか。

（ⅰ）受注（事業）実績（進出国、期間等）　※ライセンス供与等を含む。

（ⅱ）リスク管理体制

②パイオニア性（他社の参考となる事業展開ができているか。）

・先導性、独創性、戦略性、将来性等

③質の高いインフラの視点で取り組んだか。

（ⅰ）ライフサイクルコストから見た経済性、安全性、リスクに対する強靱性を備えた技術・ノウハウの提供

（ⅱ）現地労働者の雇用創出

（ⅲ）現地コミュニティへの技術・ノウハウの移転

（ⅳ）社会・環境面での影響への配慮

## ５．スケジュール

表彰式までのスケジュールは以下の通りです。審査の結果については、応募者へ通知致します。

※下記スケジュールは予定であり、変更となる可能性があります。

| | | |
|---|---|---|
| 平成２９年１２月 | ７日（木） | 募集開始 |
| 平成３０年 | １月３１日（水） | 募集締切 |
| | ２月 | 検討・審査委員会による審査 |
| | ３月 | 審査・選考結果通知及び受賞対象の発表 |
| | | 表彰式開催 |

## ６．表彰式

受賞プロジェクト及び受賞企業については、表彰式において参加者に対するプレゼンテーションを行って頂きます。

表彰式では、受賞プロジェクト及び受賞企業について紹介するパンフレットを配付する予定です。

## ７．本件に関する問い合わせ

【問い合わせ先】

国土交通省土地・建設産業局国際課（担当：青木、小泉）

電　話：03-5253-8280（直通）　　E-mail：hqt-g-kks@ml.mlit.go.jp

応募申込日：平成　　年　　月　　日

# 第１回　ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞

# 応募申込書

**建設プロジェクト部門**

## Ⅰ　応募者概要

| | |
|---|---|
| １．会社名 | |
| ２．所在地 | 〒 |
| ３．連絡先 | ご担当者名：<br><br>部署：<br><br>電話番号：<br><br>ＦＡＸ番号：<br><br>e-mail　：　 |

## Ⅱ　プロジェクト概要

| | |
|---|---|
| 1．プロジェクト名称（和文名及び英文名） | |
| 2．所在国･都市 | 国　　都市 |
| 3．プロジェクト関係者 | 発注者： |
| | 設計者： |
| | 施工者： |
| | （上記の分類に合致しない場合は、以下の空欄を使用して下さい。） |
| | |
| | |
| 4．工期 | 着工：　　年　　月<br><br>完工：　　年　　月 |
| 5．総事業費 | |
| 6．応募企業担当部分 | |
| 7．担当部分以外の部分の関連企業 | （当該部分について応募資料に含める場合のみ記入して下さい。了解を得た企業の企業名及び担当部署名を記入して下さい。） |

| | |
|---|---|
| 8．プロジェクトの諸元（概要説明、規模、工法、構造、開発面積、特徴等） | |

## Ⅲ　プロジェクトの特徴

1．「質の高いインフラ」を実現したか。

○以下の項目に該当する事柄について記載して下さい（各項目について５００字以内）。該当がない場合は、「該当なし」と記入して下さい（できる限り全ての項目について記載をお願いします）。
また、可能な限り仕様書の概要や報道記事、発注者からの評価等、客観的な資料を添付して下さい。

| 【項目１】<br>・効果的なガバナンス（透明性・コンプライアンス、工期遵守、契約管理等）<br>・信頼性のある運行・運転（運用時のノウハウを含めた提供等）<br>・ライフサイクルコストから見た経済性（維持管理コスト・耐久性に関する見込み、コスト管理、ICT の活用を含む建設時／運用時の生産性向上、品質管理等）<br>・インフラの安全性及び自然災害・テロ等に対する強靱性（インフラそのものの安全性、安全衛生管理、耐震性等） |
|---|
| |

| 【項目２】<br>・現地労働者の雇用創出<br>・現地コミュニティへの技術・ノウハウの移転 |
| --- |
| |

| 【項目３】<br>・社会・環境面での影響への配慮（施工中の渋滞回避、粉じん・騒音の防止、インフラの環境性能、バリアフリー、リサイクル、環境保護等） |
| --- |
| |

【項目４】
・国家・地域レベルの経済・開発戦略との整合性（連結性の強化、需要予測等に基づく中長期的な計画、国家・地域レベルでのセクター横断による経済・開発戦略等との整合性等）

【項目５】
・民間部門を含む資金の効果的な動員

2．我が国企業の優れた技術・ノウハウを活用し、海外におけるプレゼンス向上に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（５００字以内）。
また、可能な限り現地での報道や使用した技術・ノウハウに係る概要等、客観的な資料を添付して下さい。

| ①・現地コミュニティに「日本のプロジェクト」として認知されているか。<br>・現地社会から高く評価されているか。（交通渋滞の解消など現地社会への裨益やそれに対する住民の評価等） |
| --- |
| |

| ②・日本企業が優位性を持つ技術やノウハウ、人材育成などの強みが、プロジェクトの受注・実施にあたって重要な要素となったか。<br>・当該技術・ノウハウが関係者に評価されているか。（※受注に当たって発注者から高く評価された場合はその旨も記載。） |
| --- |
| |

3．若年世代の興味・関心を高めるとともに、国際人材の育成に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（５００字以内）。
また、可能な限り広報資料や採用活動用資料に活用した例等、客観的な資料を添付して下さい。

| ①海外建設プロジェクトへの関心を高めたか。また、若手人材の建設・不動産業に対するイメージアップにつながったか。 |
| --- |
| |

| ②当該プロジェクトが国際人材育成に資するものであったか。その人材が、その後も海外事業や関連部署で活躍しているか。 |
| --- |
| |

4．戦略性をもって取り組んだか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（５００字以内）。

| ・マスタープラン等の上流段階からの関与、当該国への戦略的な長期進出による案件の獲得等、長期的・戦略性のある受注や事業の実施であったか。 |
| --- |
| |

## 添付資料

1．プロジェクトの写真を５枚まで、写真についての説明を２～３行で記述して下さい。

2．上記「II　プロジェクトの諸元」を説明するために必要な図面等がありましたら、添付して下さい。

3．上記「III　プロジェクトの特徴」の各項目について、技術的な事項も含め、記述内容を裏付ける客観的かつ簡潔な資料を添付して下さい。

応募申込日：平成　　年　　月　　日

# 第１回 ＪＡＰＡＮコンストラクション国際賞

# 応募申込書

**中堅・中小建設企業部門**

## Ⅰ　応募者概要

| | |
|---|---|
| １．会社名 | |
| ２．所在地 | 〒 |
| ３．連絡先 | ご担当者名：<br><br>部署：<br><br>電話番号：<br><br>ＦＡＸ番号：<br><br>e-mail　：<br> |

## Ⅱ　企業概要

| | |
|---|---|
| １．社名 | |
| ２．本社所在地 | |
| ３．創業（設立）年月 | |
| ４．資本金 | |
| ５．従業員数 | |
| ６．支店 | |
| ７．ホームページ | |
| ８．事業内容 | |

## Ⅲ　海外における事業内容

１．海外進出の経緯、背景（５００字以内）
（※特に、中長期的・戦略的な取組があれば、その点についても記載して下さい。）

２．海外事業の状況（２，０００字以内）
（①主な事業活動の概要、②進出国及び時期、③受注（事業）実績（過去３年分程度、ライセンス供与等も含む。）、④特筆すべきアイデアや技術等を記載して下さい。）

・主な受注実績（５つ以内）

| 受注工事名 | 国名 | 発注者 | 契約金額 | 契約工期 | 工事内容<br>（工事種別等） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

３．海外展開におけるリスクへの対応状況（５００字以内）

| |
|---|
| |

４．将来展望（今後の取り組み）（５００字以内）

５．これまでの報道・表彰等の実績（５００字以内）

6．質の高いインフラの視点で取り組んだか。

○以下の項目に該当する事柄について記載して下さい（５００字以内）。該当がない場合は、「該当なし」と記入して下さい（できる限り全ての項目について記載をお願いします）。

| ①ライフサイクルコストから見た経済性（維持管理コスト・耐久性に関する見込み、コスト管理、品質管理等）、インフラの安全性及び自然災害・テロ等のリスクに対する強靱性（インフラそのものの安全性、安全衛生管理、耐震性等）を備えた技術・ノウハウの提供をしているか。 |
| --- |
| |

| ②現地労働者の雇用に貢献しているか。 |
| --- |
| |

| ③現地コミュニティへの技術・ノウハウの移転に貢献しているか。 |
| --- |
| |

| ④社会・環境面での影響について配慮しているか。（施工中の渋滞回避、粉じん・騒音の防止、インフラの環境性能、バリアフリー、リサイクル、環境保護等） |
| --- |
| |

## 添付資料

１．上記「Ⅲ　海外における事業内容」を説明するために必要な写真や図面等がありましたら、添付して下さい。
２．経営事項審査結果に関する資料を添付して下さい。
３．その他、参考となる資料がありましたら添付して下さい。